



## 平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 高見澤

コード番号 5283 URL <http://www.kk-takamisawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高見澤 秀茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 久保 輝明

TEL 026-228-0111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	11,644	2.7	115	△40.3	109	2.6	67	△84.5
28年6月期第1四半期	11,337	△11.4	194	27.7	106	△23.6	435	0.1

(注)包括利益 29年6月期第1四半期 △32百万円 (—%) 28年6月期第1四半期 455百万円 (1.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	8.05	—
28年6月期第1四半期	51.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第1四半期	28,323	8,281	28.3	954.68
28年6月期	27,046	8,401	30.0	966.21

(参考)自己資本 29年6月期第1四半期 8,027百万円 28年6月期 8,124百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,900	4.1	440	△23.5	500	7.7	340	△47.5	40.44
通期	51,500	5.8	780	△17.6	800	13.5	550	△21.6	65.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社ナガトク 、 除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期1Q	8,792,000 株	28年6月期	8,792,000 株
29年6月期1Q	383,790 株	28年6月期	383,790 株
29年6月期1Q	8,408,210 株	28年6月期1Q	8,521,338 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等を背景に雇用環境が改善傾向にあるなど、全体的には緩やかな回復基調で推移いたしました。個人消費は消費マインドの持ち直しに足踏みがみられ、また新興国をはじめとする海外経済の下振れ懸念が増すなど、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような経営環境の中にあつて、当社グループの当第1四半期連結累計期間の実績は、売上高11,644百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益115百万円（前年同四半期比40.3%減）、経常利益109百万円（前年同四半期比2.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益67百万円（前年同四半期比84.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 建設関連事業

建設資材関連の販売や災害復旧工事への製品納入は順調に進みましたが、受注競争が激化するなど厳しい事業環境となり増収減益となりました。

この結果、建設関連事業の売上高は2,557百万円（前年同四半期比10.2%増）、営業利益は29百万円（前年同四半期比43.0%減）となりました。

## ② 電設資材事業

電設資材事業は、公共工事及び民間企業の設備投資需要に回復が見られたものの、価格競争が一段と強まり増収減益となりました。

この結果、電設資材事業の売上高は6,118百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益は60百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。

## ③ カーライフ関連事業

石油部門では、燃料油の需要低迷と油外商品の販売不振、原油価格の下落による販売単価の値下がり要因として減収減益となりました。オート部門では、車両関連商品の販売に努めましたが、車検、車両販売ともに低調に推移し、売上高は前年並みを確保したものの減益となりました。

この結果、カーライフ関連事業の売上高は1,426百万円（前年同四半期比17.2%減）、営業損失は5百万円（前年同四半期は営業利益52百万円）となりました。

## ④ 住宅・生活関連事業

主な事業として、農産物部門では、きこ加工品の販売量が増加したことや、きこ培地の販売が順調に推移し、増収増益となりました。不動産部門では、売買物件の取扱いが減少し、減収減益となりました。なお、当第1四半期連結会計期間より連結子会社として株式会社ナガトクを当セグメントに加えております。

この結果、住宅・生活関連事業の売上高は1,542百万円（前年同四半期比12.7%増）、営業利益は71百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は15,175百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,504百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が431百万円、受取手形及び売掛金が815百万円増加したことによるものであります。固定資産は13,147百万円となり、前連結会計年度末に比べ227百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が56百万円、投資有価証券が161百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、28,323百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,276百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は13,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ789百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が701百万円増加したことによるものであります。固定負債は6,942百万円となり、前連結会計年度末に比べ607百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が601百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、20,041百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,397百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は8,281百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が103百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は28.3%（前連結会計年度末は30.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年8月9日の「平成28年6月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、株式会社ナガトクは前連結会計年度において非連結子会社でありましたが、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（2）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,192	1,623
受取手形及び売掛金	9,314	10,129
商品及び製品	1,608	1,883
仕掛品	76	144
原材料及び貯蔵品	231	260
繰延税金資産	178	147
その他	1,116	1,024
貸倒引当金	△46	△38
流動資産合計	13,671	15,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,740	7,815
減価償却累計額	△5,414	△5,522
建物及び構築物（純額）	2,325	2,293
機械装置及び運搬具	5,232	5,240
減価償却累計額	△3,608	△3,643
機械装置及び運搬具（純額）	1,623	1,597
土地	6,092	6,106
リース資産	362	339
減価償却累計額	△153	△148
リース資産（純額）	208	191
建設仮勘定	0	5
その他	1,673	1,688
減価償却累計額	△1,425	△1,440
その他（純額）	247	248
有形固定資産合計	10,499	10,442
無形固定資産		
のれん	—	45
その他	290	289
無形固定資産合計	290	334
投資その他の資産		
投資有価証券	878	717
繰延税金資産	439	439
その他	1,496	1,444
貸倒引当金	△229	△230
投資その他の資産合計	2,585	2,370
固定資産合計	13,375	13,147
資産合計	27,046	28,323

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,101	5,802
短期借入金	5,549	5,755
リース債務	69	61
未払法人税等	181	16
賞与引当金	337	324
その他	1,070	1,137
流動負債合計	12,309	13,099
固定負債		
長期借入金	3,887	4,488
リース債務	124	120
繰延税金負債	13	9
再評価に係る繰延税金負債	382	382
退職給付に係る負債	1,496	1,509
役員退職慰労引当金	177	177
環境対策引当金	116	116
資産除去債務	62	62
その他	75	75
固定負債合計	6,334	6,942
負債合計	18,644	20,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,264	1,264
利益剰余金	6,653	6,635
自己株式	△93	△93
株主資本合計	7,823	7,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90	111
土地再評価差額金	96	96
為替換算調整勘定	219	116
退職給付に係る調整累計額	△106	△103
その他の包括利益累計額合計	300	221
非支配株主持分	277	254
純資産合計	8,401	8,281
負債純資産合計	27,046	28,323

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	11,337	11,644
売上原価	9,689	10,005
売上総利益	1,647	1,639
販売費及び一般管理費	1,453	1,523
営業利益	194	115
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	6	—
仕入割引	34	33
不動産賃貸料	11	11
その他	10	17
営業外収益合計	66	65
営業外費用		
支払利息	40	32
持分法による投資損失	—	8
為替差損	74	22
売上割引	6	6
貸倒損失	30	—
その他	2	2
営業外費用合計	154	72
経常利益	106	109
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券評価損戻入益	—	10
受取補償金	495	—
特別利益合計	497	11
特別損失		
固定資産売却損	1	5
固定資産除却損	26	0
投資有価証券評価損	1	—
役員退職慰労金	7	—
特別損失合計	36	6
税金等調整前四半期純利益	566	114
法人税、住民税及び事業税	91	24
法人税等調整額	31	24
法人税等合計	123	48
四半期純利益	443	65
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	435	67

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	443	65
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	21
為替換算調整勘定	21	△68
退職給付に係る調整額	2	2
持分法適用会社に対する持分相当額	19	△53
その他の包括利益合計	12	△98
四半期包括利益	455	△32
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	441	△11
非支配株主に係る四半期包括利益	14	△21

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,320	5,925	1,722	1,369	11,337	—	11,337
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	6	57	100	202	△202	—
計	2,358	5,931	1,780	1,469	11,539	△202	11,337
セグメント利益	52	61	52	65	232	△38	194

(注) 1. セグメント利益の調整額△38百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年7月1日 至 平成28年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,557	6,118	1,426	1,542	11,644	—	11,644
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28	7	66	19	121	△121	—
計	2,585	6,125	1,492	1,561	11,766	△121	11,644
セグメント利益又は損 失(△)	29	60	△5	71	156	△40	115

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△40百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社ナガトクを連結子会社化したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては48百万円であります。当該のれんについては、報告セグメントに配分しておりません。